

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北上市立こども療育センター			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数)	50
○従業者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの興味に合わせて活動や環境を設定しています。	子どもたちが好きなことを活動に取り入れています。 集団活動の時は遊具等が見えないように環境設定し、活動に集中できるよう配慮しています。	子どもたちが楽しめる教材の開発や活動内容を工夫します。
2	親子で一緒に活動し、保護者と協力して発達を支援します。	活動しながら保護者と家庭の様子等情報交換したり、時には時間を取って相談に対応しています。 子どもの様子や変化を肯定的にとらえ、子どもの成長を共有しています。 保護者交流会を開催し、保護者同士で悩みを話したり情報交換する機会を設けています。	研修を受講し、職員一人ひとりの資質の向上に努めます。
3	ペアレントトレーニングを実施しています。	多くの保護者が参加しやすいように、午前コースと午後コースを設けて開催しています。 ペアレントトレーニングを活用し、子どもたちに肯定的なことばかりや肯定的な注目を与え、子どもたちとより良いコミュニケーションができるよう対応しています。	市内の児童発達支援事業利用者に対象を広げ、さらに多くの保護者が受講できるよう周知します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遊具や子ども同士の衝突がある。	感覚統合遊具等大型遊具が複数配置されている。 走り回れる広いスペースがある。	遊具の安全領域が確保されているか、遊具の配置を確認します。
2	きょうだい向けのイベントがない。	きょうだいの年齢も低く、きょうだいのみを対象とするイベントを企画しにくい。 きょうだいの参加を保護者が遠慮していると思われる。	活動にきょうだいも一緒に参加できることを保護者に周知します。 活動する中できょうだいの交流を図っていきます。